

# 21年目の葉山

村山市立葉山中学校  
学校だより  
第5号  
令和6年6月10日

## 『ふるさと教育の森』に学ぶ

校長 富塚 義幸



6月6日(木)、山ノ内字上平地内の国有林において、村山市『ふるさと教育の森』事業が開催されました。昨年、「植林は温暖化の一因となる二酸化炭素を増やさない行動『ゼロカーボン』につながることを」を教えていただきました。『ゼロカーボン』が注目される理由を知っていますか…1850年から2017年にかけて、約170年の間に地球全体で+1.07度、気温が上昇しています。**+1.5度を超えると多くの事象が改善できない状況になる**と言われていす。温暖化を止めるには、原因となる二酸化炭素等をこれ以上増やさない行動が必要なのです。つまり『ゼロカーボン』を今すぐ実行しなければなりません。日常的に考えると「たった1度？」とピンとこない人がいるかもしれませんが、椅子を例にイメージしましょう。椅子を後ろに少しずつ倒していくと、バランスが保てずひっくり返るポイントがあります。ひっくり返った椅子は元に戻ることはできません。**地球が元に戻れないポイント**、それが**+1.5度**なのです。数十年に一度、数百年に一度と言われる異常気象が何度も起るのも温暖化の影響です。令和2年7月、村山市内でも集中豪雨により浸水被害がありました。また、農林水産業への影響も多々あります。農家の方から、気温の上昇によってリンゴの色付きが悪くなったと聞きます。庄内浜のヤリイカやハタハタの漁獲量が減り、暖かい海域に生息するサワラの漁獲量が増えているというニュースが以前ありましたが、そのサワラも獲れなくなってきているそうです。皆さんも実感していると思いますが、最高気温35度以上の猛暑日が増えて熱中症を心配することが多くなりましたね。植林の他にも私達ができることを考え、実行していきましょう。SDGs(持続可能な開発目標)の13番目は「気候変動に具体的な対策を」です。

## 特集：『村山市立小学校統合基本計画』について

6月5日（水）の山形新聞に『村山市立小学校統合計画』の記事がありました。村山市内の7つの小学校を2校に再編し、**葉山中学区4校（大久保、富本、戸沢、富並）は葉山中敷地内に校舎を増設し、小中学校9年間の義務教育を一貫して行う「義務教育学校」として2028年度に開校する**という内容です。2028年度（令和10年度）から、小学1～4年生用の教室を増設しさらにパワーアップしたこの校舎で、小学生と中学生が共に学び始めます。今までになかった学校に生まれ変わります。どんな学校生活になるのでしょうか。「早く入りたい！」と小学生がワクワクする学校であり続けたいですね。村山市のホームページに『村山市立小学校統合計画』の全文があります (<https://www.city.murayama.lg.jp/kurashi/gakko/kyoikuiinkai/tougoukeikaku.html>)。参考のため8ページにある表を抜粋します。

表 2-2 村山市の小学校のあり方〈統合基本計画〉【本計画】

### (西部地区)

No.	項目	内容	主な事由
1	小学校統合の場所 ～どこに～	現在の葉山中学校の校舎を活用しつつ、その際に「不足する」小学校の校舎を建設（増設）した上で、葉山中学校敷地内に統合する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現葉山中学校の場所が合理的</li> <li>・アンケートでは現葉山中周辺が73.5%と最多</li> <li>・小学校校舎として「不足する」教室等は増築等で対応</li> </ul>
2	統合の時期 ～いつ～	令和10年度の開校を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでは、早期（5年以内）の統合希望が67.1%</li> <li>・新校舎増築等に3年を要するので、早くて令和10年度</li> </ul>
3	学校の形態 ～どんな学校～	葉山中学校と一体型（一貫型教育）の学校とし、「義務教育学校」とする。 さらには、葉山中学校の「教科教室制」の特色を生かした学校とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「義務教育学校」は、小中一貫型のメリットを最大限生かした学校形態</li> <li>・現葉山中学校の特色を取り入れ、ダイナミックで効果的な教育活動が展開できる可能性</li> </ul>

### 西部地区の統合基本計画

